

リウマチ専門医研修コース

概要

当院は日本リウマチ学会が認定する教育施設となっているので、以下の条件を満たせば受験資格が得られる。

リウマチ専門医資格試験は毎年 1 月に行われ、申請書類は前年の 9 月末日までに提出する必要がある。

<http://www.ryumachi-jp.com>

gakkaih@ryumachi-jp.com

受験資格

1. 日本国の医師免許証を有していること。
2. 申請時に 5 年以上リウマチ学会の会員であること。
3. 日本リウマチ学会が認定した教育施設等において、通算 5 年以上のリウマチ臨床研修を行ったこと。
4. 後に述べる研修単位を 30 単位以上取得していること (*).
5. 関連基本領域学会の認定医あるいは専門医の資格を有すること。

基本領域学会

日本内科学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、日本精神神経学会、
日本外科学会、日本整形外科学会、日本産婦人科学会、日本眼科学会、
日本耳鼻咽喉科学会、日本泌尿器科学会、日本脳神経外科学会、日本放射線学会、日
本麻酔科学会、日本病理学会、日本臨床検査学会、日本救急医学会、
日本形成外科学会、日本リハビリテーション医学会。

*専門医研修単位

1. 日本リウマチ学会および関連学会への出席

日本リウマチ学会総会	10 単位
国際リウマチシンポジウム	5 単位
アニュアルコースレクチャー	7 単位
日本医学会総会	5 単位
日本リウマチ学会地方会	5 単位
関連学会	3 単位 (**)
2. リウマチ学に関する業績

学術論文	Modern Rheumatology 筆頭著者	7 単位/編
	Modern Rheumatology 共著者	3 単位/編
	その他の学術論文筆頭著	5 単位/編
	その他の学術論文	3 単位/編
学会発表(日本リウマチ学会総会および同地方会)	筆頭演者	5 単位/題

3. 日本リウマチ学会が主催または認定した教育研修会または講演会
出席 1 単位/時間・最大 7 単位/日

4. 日本医師会生涯教育研修会 1 単位

* * 関連学会

日本内科学会、日本整形外科学会、日本小児科学会、日本皮膚科学会、
日本アレルギー学会、日本免疫学会、日本超音波医学会、日本炎症・再生医学会、
日本関節病学会、日本痛風・核酸代謝学会、日本結合織学会、日本臨床リウマチ学会、
日本軟骨代謝学会、日本臨床免疫学会、日本温泉気候物理医学会、日本リハビリテー
ション医学会。

APLAR, EULAR, ILAR, PANLAR (ACR)

リウマチ専門医研修プログラム

このプログラムはリウマチ専門医になるための研修課題を要約したものである。したがって、その内容はリウマチ専門医資格試験で求められる基本的な知識を網羅したものとなっている。以下にその目次のみを挙げる。

総論

I 一般的研修目標

II 基本的知識と技能

1. 診察法
2. 基本的臨床検査法
3. 画像検査法
4. 内視鏡検査法
5. 診断
6. 滅菌、消毒法
7. 簡単な局所麻酔と外科手技
8. 関節穿刺と関節内注射
9. 治療

各論

I	基礎知識	
	1. リウマチ性疾患の歴史	B
	2. リウマチ性疾患の分類	A
	3. リウマチ性疾患の病理学	B
	4. リウマチ性疾患の疫学	B
	5. リウマチ性疾患の社会心理学	A
	6. リウマチ性疾患の遺伝学	A
	7. リウマチ性疾患の感染因子	B
	8. 実験動物の関節炎と自己免疫	B
	9. 関節の構造と機能	A
	10. 骨格筋の構造と機能	B
	11. リウマチ性疾患と生化学	A
	12. 基礎免疫学	A
	13. 炎症反応	A
	14. 自己免疫	A
	15. 組織障害の免疫病理学的機序	A
	16. 免疫遺伝学	A
	17. 免疫不全	B
II.	リウマチ性疾患の主要症候	
	1. 全身症状	A a
	2. 関節症状	A a
	3. 関節外症状	A a - B
III	検査	
	1. 一般検査	
	2. 免疫血清学的検査	
	3. 病理組織学的検査	
	4. 免疫遺伝学的検査	
	5. 穿刺液検査	
	6. 各種の画像検査	
	7. 関節鏡検査	
	8. 生理学的検査	
IV	治療	
	1. 抗リウマチ薬の臨床薬理学	
	2. 関節穿刺法	
	3. 関節注入治療	
	4. 血液浄化療法	

5. リハビリテーション

6. 生活指導、在宅ケア

7. 外科的治療

V リウマチ性疾患

1. 全身性結合織病

2. 脊椎関節炎

3. 変形性関節症、変形性脊椎症

4. 感染に伴う関節炎

5. 代謝性および内分泌疾患に関連する関節炎

6. 新生物

7. 神経血管異常

8. 骨軟骨疾患

9. 関節外疾患

10. その他の関節炎